

社会科学学習指導案

学習者 附属小学校 4 年 1 組 3 4 名

指導者 山本 真央

単元名 県内の特色ある地域の様子 (伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域) ～Ｙさんと「竹細工のまち 別府」の認知度を高める～

1. 単元の目標

県内の特色ある地域の様子について、別府市の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ白地図などにまとめ、別府市の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することを通して、別府市では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解するとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に地域に対する誇りや持続可能な社会を担おうとする態度を養うことができるようにする。

2. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 別府市の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、別府市の様子を理解している。	① 別府市の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見だし、地域の様子について考え表現している。	① 別府市の様子について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
② 調べたことを白地図や文などにまとめ、別府市では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。	② 別府市の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、大分市と比較したりして、別府市の様子の特色を考え、適切に表現している。	

3. 指導と評価の計画（時間）

時	ねらい（◆）と主な活動（○）	評価規準〈評価方法〉		
		指導の改善に生かす評価「・」 総括資料とするための記録に残す評価「○」		
		知・技	思・判・表	主体
1	◆別府市が別府竹細工に力を入れる理由について、3年生の大分市の学習を振り返ったり、別府竹細工を用いた各所の写真を見て話し合ったりすることを通して、学習問題を立てることができるようにする。			
	○前年度の学習ログを見直して、大分市がどのようなまちだったか振り返る。		○①〈振り返り分析〉	

	○別府竹細工を用いた各所の写真について話し合う。 ○学習問題を立てる。		・②〈振り返り分析〉	
	<div>学習問題</div> <div>別府市は、なぜ別府竹細工に力を入れているのだろうか？</div>			
	○学習ログに学習問題に対する予想を書く。			
2	◆学習問題について、予想を交流し課題を立てたり今後の調べ学習に関する学び方や予想を練ったりすることを通して、学習計画を立てることができるようにする。			
	○予想を交流し、学習問題を解決するための課題を立てる。 <div>想定される課題 ☆別府竹細工はどのように始まり、今日まで発展してきたのだろうか？ ☆別府竹細工はどのようにして作られているのだろうか？ ☆別府竹細工のために、誰がどのようなことに取り組んでいるのだろうか？</div> ○今後の調べ学習に関する学び方・予想を学習計画に書き込む。		○①〈発言分析・振り返り分析〉	○①〈計画分析〉
3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 (GT・見学は国語とのカリマネ2時間)	◆別府竹細工の発展の経緯について、自分の考えを資料を基に形成したり、友達と交流して考えを広げたりすることを通して、マダケの生産量日本一という自然環境や温泉とともに産業を発展させたり、高級路線に舵を切り人材育成や技術向上に取り組んだことで発展させてきたりしたことを理解することができるようにする。			
	○自分の考えを資料を基に形成する。 ○友達と交流して考えを広げる。 ○自分の学習計画の見直しや本時の振り返りを行う。 <div>【想定される児童の姿】 ・別府市は材料のマダケも手に入り、温泉と深い関わりがあることがわかった。 ・便利なプラスチックがでてきたことで、別府竹細工が高級路線に切り替わったんだね。</div>	○①〈考えづくりシート分析・振り返り分析〉		・①〈発言分析・振り返り分析〉
			<div>3～6時は学習の個性化で行う。 ・調べ方の選択（人数・資料・方法） ・調べる順番の選択（課題） ・調べる進め方の選択（時間配分）</div>	
	◆別府竹細工の制作過程について、自分の考えを資料や見学で得た情報を基に形成したり、友達と交流して考えを広げたりすることを通して、昔から受け継いできた技術や技法を生かして作り続けていることを理解することができるようにする。			
	○自分の考えを資料を基に形成する。 ○友達と交流して考えを広げる。 ○自分の学習計画の見直しや本時の振り返りを行う。	○①〈考えづくりシート分析・振り返り分析〉		・①〈発言分析・振り返り分析〉

	<p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔から受け継いできた方法をいかして、次の世代へと受け継いでいることがわかった。 ・人間国宝に選ばれるほど、技術が優れた人がでていたことがわかった。 			
	<p>◆別府竹細工に関わる人々について、自分の考えを資料や別府市役所産業政策課のYさんのお話を基に形成したり、友達と交流して考えを広げたりすることを通して、別府市役所産業政策課のYさんや別府市竹細工伝統産業会館、大分県竹工芸訓練センターがそれぞれの立場でできることを行い、別府竹細工を守ったり、魅力を広めたりしていることを理解することができるようにする。</p>			
	<p>○自分の考えを資料を基に形成する。</p> <p>○友達と交流して考えを広げる。</p> <p>○自分の学習計画の見直しや本時の振り返りを行う。</p>	<p>○①〈考えづくりシート分析・振り返り分析〉</p>		<p>・①〈発言分析・振り返り分析〉</p>
	<p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別府市役所産業政策課のYさんたちは、職人さん以外だけでなく、市民や宿泊施設などにも支援をして魅力を広めていることがわかった。 ・別府市竹細工伝統産業会館や大分県竹工芸訓練センターの人々は後継者育成に力を入れながら別府竹細工を守っていることがわかった。 			
7	<p>◆別府市が別府竹細工に力を入れている理由について、考えづくりシートを用いて考えを交流したり、様々な立場の人の行動やその意味を関連付けてまとめたりすることを通して、別府市や別府竹細工に関わる人を中心に別府竹細工を核としてまちづくりをしていることを理解することができる。</p>			
	<p>○考えづくりシートを用いて考えを交流する。</p> <p>○それぞれの取組を関連付け、別府市のまち全体で別府竹細工の継承や保存、振興に取り組んでいることから別府竹細工を核としたまちづくりを行っていることをまとめる。</p>	<p>○②〈考えづくりシート分析〉</p>		
	<p>単元のまとめ</p> <p>別府市が別府竹細工に力を入れているのは、マダケの生産量日本で温泉とともに発展してきた自然条件や伝統的な技術や技法を継承して作り続け、別府市産業政策課のYさんや別府市竹細工伝統産業会館、大分県竹工芸訓練センターがそれぞれの立場で別府竹細工を守り広めていくことで、「竹細工のまち 別府」としてまちづくりをしているから。</p>			
	○別府竹細工の認知度の低さに着目し、別府市			

	産業政策課のYさんたちの今後の取組に目を向ける。			
	<div>新たな課題</div> 別府市産業政策課の横山さんたちが「竹細工のまち 別府」の認知度を高めるためには、今後どんなことに取り組んでいくべきだろうか？			
	○今までの学習をいかして別府竹細工に関わる取組と別府のまちの発展を関連付けて考えづくりシートにまとめる。			
8	◆別府市産業政策課Yさんたちの今後の取組について、今までの学習をいかして別府竹細工に関わる取組と別府のまちの発展を関連付けた考えを交流したり別府市産業政策課Yさんのお話から自分の考えを再検討したりすることを通して、「竹細工のまち 別府」の認知度を高めるためにすべきことを表現することができるようにする。			
	○考えづくりシートを用いて友達と交流する。 ○全体で考えを交流する。 ○別府市産業政策課Yさんに自分たちの話したことについてコメントをいただいたり、今後の別府市の取組についてお話していただいたりする。 ○Yさんのお話を受けて、自分の考えを再検討し、最終結論をまとめる。		○②〈考えづくりシート分析・振り返り分析〉	○①〈考えづくりシート分析・振り返り分析〉
	【想定される児童の姿】 ・宿泊施設で実際に作品を使ってもらい、宿泊客の方にも魅力を知ってもらい。宿泊施設で商品も置いてもらえるとそのまま買ってもらえるかもしれない。別府竹細工の認知度が高まるのではないかな。			
※事後	○国語「工芸のみりよくを伝えよう」とのカリキュラム・マネジメントを行い、別府市産業政策課のYさんたちへの提案文書を書くようにする。 ○単元の振り返りとして、まちづくりで大切だと考えたことや自分がどう関わっていけるかを視点として設ける。この視点は今後の2つの事例地でも継続して振り返り、3つの事例地を学習した後、まちづくりについてアウトプットする機会を設けるようにする。			

4. 本時の指導 (8/8)

本時のねらい 別府市産業政策課 Y さんたちの今後の取組について、今までの学習を生かして別府竹細工に関わる取組と別府のまちの発展を関連付けた考えを交流したり別府市産業政策課 Y さんのお話から自分の考えを再検討したりすることを通して、「竹細工のまち 別府」の認知度を高めるためにすべきことを表現することができるようにする。

評価規準 別府市産業政策課 Y さんたちの今後の取組について、「竹細工のまち 別府」の認知度を高めるためにすべきことを表現することができる。

具体的な児童の姿

- ・「宿泊施設には、別府竹細工の魅力が伝わるリーフレットを置かせてもらうようにするのはどうだろうか。宿泊客の人に配ってもらえる。温泉と一緒に竹細工が盛り上がるといいな。」
- ・「職人さんには、他市や他県のイベントに職人さんを紹介して参加してもらえれば、作品や職人さんの魅力を知ってもらえるのではないかな。」
- ・「別府市民の方には、別府竹細工の家庭でのおしゃれな使用方法を市報やホームページで紹介すれば、もっと魅力を知ってもらえるのではないかな。」
- ・「観光客の方には、体験教室ができる場所を増やすことで、いろんな人に楽しんでもらえて魅力が伝わるのではないかな。」
- ・「宿泊施設で実際に作品を使ってもらい、宿泊客の方にも魅力を知ってもらおう。宿泊施設で商品も置いてもらえるとそのまま買ってもらえるかもしれない。」

〈考えづくりシート・振り返り分析〉

時間	児童の活動	○指導及び・留意点【選択・決定】【当事者意識】 ※支援を要する児童への手立て ◎評価(方法)
3分	前時に自分の立場や考えを考えづくりシートにまとめている。	
	1. 学習問題と本時の課題等を確認する。	○学習問題と本時の課題等を確認するようにする。 ・学習問題と本時の課題を読み確認する。【当事者意識】
	本時の課題 別府市産業政策課の横山さんたちが「竹細工のまち 別府」の認知度を高めるためには、今後どんなことに取り組んでいくべきだろうか？	
15分	2. 自分の計画に応じて、考えを交流する。	・本時の課題に対する自分の考えや立場を考えづくりシートで振り返るようにする。【当事者意識】【選択・決定】 ○自分の計画に応じて、考えを交流するようにする。 ・立場の一覧をスクリーンで表示したり、帽子のかぶり方を変えたりすることで交流相手が分かりやすいようにしておく。(宿泊施設・お店→青・前ツバ、職人・組合→黄色・後ツバ、別府市民・観光客・消費者→赤・かぶらない) ・児童が自分の計画や目的に応じた交流をするようにする。ただし、異なる立場の児童と必ず交流するようにする。【選択・決定】 ※交流に前向きでなかったり進んでいなかったりする児童がいた場合は、個別に声をかけ交流相手をセッティングする。

8分	3. 交流の際に焦点となったことについて、全体で話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師は各交流を見取り、全体で焦点化すべきことを把握する。 <p>○交流で焦点となったことについて、全体で話し合うようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童は立場を明らかにしたうえで、自分の考えを発表するようにする。その際、考えづくりシートを用いて、根拠となる資料と結びつけながら発表するようにする。【当事者意識】 <div data-bbox="600 421 1407 584" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【教師の想定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別府竹細工のことを発信すれば、本当に認知度をあげることとはできるのか？ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・交流の結果、立場を変える児童がいた場合は、その理由と根拠となる資料を発表するようにする。【選択・決定】 ・立場を修正した児童は、全体の場で立場を変更した理由と自分の考えを発表するようにする。【当事者意識】 ・児童が情報発信だけでなく職人の職場環境の改善や体験の充実などに着目し始めたら、別府市産業政策課の Y さんに登場してもらうようにする。
11分	4. Y さんの話を聞いて、自分の考えを再検討する。	<p>○Y さんのお話を聞いて、自分の考えを再検討するようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Y さんには、児童の話し合ったことへの価値づけを行ってもらい、今後計画されている「竹細工のまち 別府」への取組をお話してもらう。 ・Y さんのお話を踏まえて、自分の考えを再検討し、考えづくりシートに最終結論を書くようにする。 <p>【当事者意識】【選択・決定】</p> <p>※最終結論がなかなか書けていない児童がいた場合は、友達の考えや Y さんの話で取り入れたいことはどのようなことか問いかけるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時は最終結論を書くことで、今後の国語とのカリキュラム・マネジメントで行う提案文書とつなぐようにするため、まとめはオープンエンドとする。
8分	5. 本時の振り返りを行う。	<p>○本時の学習を振り返るようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【学び方】【社会科の内容】【今後の見通し】をロイロノートで振り返るようにする。【当事者意識】 ・振り返りが書けた児童から教師にロイロノートで提出するようにする。その際教師は、振り返りに対するフィードバックを行う。 ・提出してきた振り返りを回答共有し、児童が相互に閲覧できるようにする。【当事者意識】 <p>◎別府市産業政策課 Y さんたちの今後の取組について、「竹細工のまち 別府」の認知度を高めるためにすべきことを表現することができる。〈考えづくりシート分析・振り返り分析〉</p>